

第7回藤沢駅前街区エリアデザイン会議 議事要旨

1 エリアデザインコンセプト案の検討

- ・前回より表現がシンプルになり、基本的な要素と個性的な要素という表現もわかりやすくなった。
- ・デザインコンセプトとは何なのか、どう使ってほしいのかを呼びかける機会があるとよい。
- ・なるべく計画の早い段階で、事業者側にコンセプトに目を通していただけるとよい。
- ・運用について、施設のデザインコンセプトを誰かが判断するというよりは、デザインコンセプトの読み込みを説明してもらうような、どのようなデザインをするのかを民間に説明してもらうための資料のようなものとなる。
- ・コンセプトのまとめの中には、今まで積み上げてきたものや現況の成果というものが書かれているとよい。
- ・藤沢駅前街区は、基本的な要素である1と2が基になっていて、そこに個性的な要素の3つが絡んできて、多様な景観が生まれている。これまで議論してきたことをうまくロゴマークにしている。
- ・ロゴマークのみからコンセプトを読み解くことは難しいため、使い方に気をつけなければならない。
- ・視覚に障害がある方の観点で、一般的にはまず文字が読めるかということが大事。ロゴマークの色や文字について、ユニバーサルデザインの観点から確認してもらいたい。
- ・市の考え方であるデザインコンセプトに対して、民間がデザインの考え方を共有する仕組みはよい。
- ・コンセプトはスコアをつけるようなものではないが、デザインの際に配慮する点において、基本的に考えること、応用的に考えることに分けて、考えを促すガイドとなっている。
- ・コンセプトからデザインを読み取るというよりは、どう実現していくのか議論するための補助線と考えるとよい。
- ・いろいろな検討によって膨らんだ意見が、このコンセプトに収束している。
- ・今後の南口広場や民間施設の計画のデザインの拠り所になるとよい。
- ・今後の運用についても課題があれば軌道修正しながら、いいまちづくりにつなげてもらいたい。
- ・コンセプトにある多様性やミックスカルチャーを許容していくような駅前となってほしい。
- ・デザインコンセプトがSDGsみたいに項目としてあって、それが目標を示しており、基本的な要素と個性的な要素という構造をもっているというように整理できたのは画期的である。
- ・コンセプトを作るそばから応用していく取り組みはよく、いろんな自治体のコンセプトにも応用できそうな事例なのではないか。

2 南北自由通路のデザイン案の検討

- ・南北自由通路のサインは、北口広場にある既存のサインシステムに調和する形で、南口にも展開していくとよい。
- ・夜のイメージを想定することも重要であり、照明を電球色にすることを想定されているが、電球色には2,700~3,000Kの幅があり、通常は改札にいくほど白熱になっていく。その繋ぎや外から入ってきたときの变化など、詳細設計の変更段階で設計者と丁寧に協議してもらいたい。
- ・床は600×400程度の大きさであれば、タイルよりも自然石のほうがよい。
- ・床の資材の配色パターンの色味が強いと、地とならず、柄になってしまう。今の配色で決定して、いきなり張るのではなく、現場で実際に使うサンプルを複数用意して確認してもらいたい。

- ・ 駅空間でアルミスパンドレルか白系できれいに保たれている駅は少なく、たしかにメンテナンスフリーではあるが、素地の検討も可能性に入れてもらいたい。
- ・ 塗装色を 10YR 系で統一しているが、一部 5YR のものがあるので、色相を合わせることを徹底してもらいたい。
- ・ イベントスペースは丸の中だけに限定しているわけではないが、乗り換え動線と南北の動線の交錯を解消するために 16m という幅員を決めているため、イベントスペースの大きさや運用については今後検討を進めることになる。
- ・ 広告の大きさやデジタルサイネージか否かは未定であり、イメージとして載せているだけではあるが、広告を掲載する割合などのイメージを示している。
- ・ 市議会では自由通路にベンチを設置することについて、懐疑的な意見も出ている。
- ・ 鉄道事業者として、待ち合わせのシンボルや滞留空間に椅子を設ける事例はある。通行を阻害しないのであれば設置に問題はないだろう。
- ・ 可動式は壊されるなどの課題もあるので、ベンチの仕様については総合的に考えるとよい。
- ・ 高齢者をはじめとするベンチのニーズは多くあるだろう。
- ・ 窓のサッシは既存のものを使用していますが、整備後に継ぎ接ぎ感が出てしまわないように検討してもらいたい。
- ・ 広告については運用の段階で、簡易的でもよいので広告のデザイン審査をしてもらいたい。デザインコンセプトを補強して、駅の環境をよくしていけるような広告が出されるとよい。
- ・ 遊行寺口（北口）、江の島口（南口）というサインは、普段の利用者に違和感がないのであれば、初めて訪れる人にとっては分かりやすいサインになっている。北口を遊行寺口とするか、サンパール広場口とするかなどの詳細はひきつづき市で検討してもらいたい。
- ・ 今後も景観のアドバイザー制度なども活用しながら、専門家の方々の知恵を拝借しつつ、慎重に進めていただきたい。
- ・ オペレーションが始まってからが勝負のようなデザインになってよかった。
- ・ 最終的にデザインのノリを決めるのは最後のもの決めの段階だったり、運用などの詳細の話であったり勝負所になってくる。
- ・ 今後も専門家の意見を聞く機会や検討を緩めずに進めていただき、うまい形でエリアマネジメントの方にバトンが渡せるとよい。

以上